

2023年8月23日

## 横浜ゴム、タイ天然ゴム公社と共同で天然ゴム農家を継続支援 5回目のセミナーイベントを開催

横浜ゴム（株）は2023年6月、タイ天然ゴム公社（Rubber Authority of Thailand : RAOT）※1 スラタニ支局と共同で、タイの天然ゴム農家に対し、天然ゴムの品質および生産性向上に向けたセミナーイベントを開催しました。今回のセミナーにはスラタニ地区の50戸の農家が参加。参加者にはタイ天然ゴム公社の知見を活かした肥料を1農家あたり250kg無償提供し、好評を得ました。なお、本セミナーイベントの実施は2020年の初開催から数え5回目です。

※1：タイ農業・協同組合省（Ministry of Agriculture and Cooperatives: MOAC）管轄下の組織

横浜ゴムは2020年1月、当社の「持続可能な天然ゴムの調達方針」に基づき、タイ天然ゴム公社と天然ゴム農家の経営支援およびサプライチェーンの透明性と健全性を確保するためのトレーサビリティの向上に協力していく覚書を締結しました。セミナーイベントは本覚書に基づき、農家支援の一環として当社の天然ゴム加工会社のY.T. Rubber Co., Ltd.（ワイ・ティー・ラバー）が立地するスラタニ地区で開催しているもの。また、肥料を提供した農家からは天然ゴム物性や生産性についての追跡調査への協力を得ています。

横浜ゴムは、持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム（GPSNR※2）に創設メンバーとして参画するとともに、2021年9月には従来の「持続可能な天然ゴムの調達方針」を改定し、GPSNRの活動との連携を強めています。今回のセミナーイベントは同方針に掲げられた「サプライチェーンに関わる方々への支援」を反映したもので、今後も同方針で定めた活動指標に沿った取り組みを実施し公表していきます。また、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組んでおり、その一環として天然ゴムをはじめとした持続可能な原料調達に向けた活動を推進しています。2022年12月にはインドネシアの天然ゴムサプライヤーとも覚書を締結し、現地の小規模農家を支援するセミナーイベントを開催しました。

※2：GPSNR=Global Platform for Sustainable Natural Rubber

横浜ゴムは2021年度から2023年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）のサステナビリティ経営において「未来への思いやり」をスローガンに掲げており、事業活動を通じた社会課題への貢献を進めています。



天然ゴムセミナーの様子（左）と提供された肥料を前に記念撮影をする農家の方々

このリリースに関するお問い合わせ先  
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：鎌田  
 TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552